

まちが直面する主な課題

1. 日赤の改築
2. 介護福祉学校の存続
3. 栗高の存続
4. 駅周辺・商店街の活性化
5. スキー場の存続

1. 日赤の改築問題

【現状と課題】

- ・ 深刻な医師不足。医師確保が困難な状況。
- ・ 建物の老朽化(昭和55年建築、築38年)
- ・ 耐震化問題
- ・ 栗山町にあった診療体制とは



1.日赤の改築問題

【後期実施計画の取組む内容】

- ・ 入院中心の医療から、在宅療養をはじめとする医療と介護が連携したサービス体制の構築
- ・ 医療と介護の相互理解・連携の推進が必要
- ・ 将来的な地域の医療水準のあり方
- ・ 日赤病院の中核医療機関としての役割
- ・ 病院施設のあり方について検討
- ・ 改築を含めた将来的な医療環境整備の全町的な検討



2. 介護福祉学校の存続

【現状と課題】

- ・ 入学生の推移(定員80名)

H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
56人	79人	54人	39人	42人	41人	36人

- ・ 授業料2年間総額
123万円/人
- ・ 町負担(繰出金 約6千万円)



2. 介護福祉学校の存続

【後期実施計画の取組む内容】

- ・ 学生の確保(新卒、社会人入学者)
- ・ 認知度アップ(SNSの活用など)
- ・ 魅力ある学校づくり
 - ⇒ 職業実践専門課程への移行
 - ⇒ 質の高い教育力の維持・向上



3. 栗高の存続

【現状と課題】

- 1年生(52人)2年生(55人)3年生(61人)
男子93人、女子75人、計168人
(平成30年4月6日現在)
- 各種資格取得に対する
支援を実施。前期4年間で計53万円延べ500人が
支援を受けた。



3. 栗高の存続

【後期実施計画の取組む内容】

- ・ 各種資格取得支援の充実
- ・ 栗山高校の未来像を話し合う町民委員会の設置



4. 駅周辺・商店街の活性化

【現状と課題】

- ・ 栗山町の玄関口としての美観形成
- ・ 商店街の衰退
- ・ 駅周辺の賑わいづくり
- ・ 空き店舗の増加⇒現在約32店舗

【店舗数の推移】

最盛期：約250店舗(昭和43年頃)

現在：約90店舗

4. 駅周辺・商店街の活性化

【後期実施計画の取組む内容】

- 都市再生整備事業では、
⇒ 町道整備事業、公園整備、農協倉庫活用事業(観光交流施設としての活用、ものづくりDIY工房機能の設置地域コミュニティFMの開設など)
- その他関連施設
⇒ 公営住宅の建設

5. スキー場の存続

【現状と課題】

- ・ 完成は昭和46年。
- ・ 昭和48年リフト設置
(45年経過)
- ・ リフトの基礎及び支柱の劣化が著しく使用が困難
- ・ 利用状況



H25	H26	H27	H28	H29
52,826人	51,480人	32,377人	44,096人	27,639人

5. スキー場の存続

【後期実施計画の取組む内容】

- ・ スキー場あり方検討会を設置し、そこでの議論を踏まえ町民へお知らせし、できるだけ早い時期に方針を決定
- ・ リフト更新による費用対効果など



将来の町のために
皆さんの声を
お聞かせください

